



今月号では、6月に開催されました定例教育委員会についてお知らせします。



6月定例会の様子

第6回定例会報告

6月23日開催

▽議事

- 高島市就学指導委員会委員の委嘱について
委員1人の追加委嘱を承認しました。

- 平成18年度要保護および準要

- が継続して伸ばしにくいといった課題がある。
- 利点(事例から)
 - ①小学校で英語の導入
 - ②小学校5・6年の教科担任制
 - ③中学校の教員が小学校の授業に
 - ④小学校5・6年の部活動参加
 - ⑤9年間一貫したカリキュラム
 - ⑥小学校教員の継続した見届け
 - ⑦児童・生徒の交流
 - ⑧小中系統性のある総合的な学習
 - ⑨教育方針や重点施策の一貫性
 - ⑩一貫した生活指導・生徒指導
 - ⑪教員の交流が容易
- 課題
 - ①転入生・転出生への対応(他校と教育課程が異なる)
 - ②小中両免許保持者の配置等
- 委員からの意見

高島市内に対象可能な学校を考える必要があるが、市内全校の子どもの実態を調査し、市内の小中学校が今後どうあるべきかを示す「グラウンドデザイン」を確立したうえで小中一貫校を進めていく必要がある。また、小中一貫教育を目指す目的を鮮明にし、何を指すのかを忘れないでほしい。
- 市内の学校・園訪問について(7月3日) 今津東小学校・今

保護児童生徒就学援助費受給申請に係る認定について

市内小中学校に在籍する359人の児童生徒について、今年度分の就学援助費を給付する必要があると認めました。うち10人の申請については、審議継続として、7月に臨時教育委員会を開催し認定に係る審査を行う予定です。

＜委員からの意見＞

公平の原則を保つため、民生委員さん等から実態を聞き関係資料の作成をしてほしい。就学援助費の給付も大切だが、申請者の話を聞く機会を設け相談にのることも必要である。また、子育てに困難を感じている保護者を早期に発見し、状態に応じて個別に支援できる体制を整えていただきたい。特に18歳未満の保護者は子育てに悩む人が多い。

▽協議・報告

- 高島市海洋・西浜・知内地域文化的景観保存活用委員会設置要綱の制定について

津西小学校

「7月11日」マキノ東小学校・教育支援センター「スマイル」

＜委員からの意見＞

不登校・教育相談を教育委員会としてしっかり受け止め現状を把握したうえで訪問する必要がある。

- 公民館等施設使用料に係る減免措置運用の考え方について

公民館等施設使用料に係る減免措置の運用について、「市や市教育委員会が主催や共催する事業」「市内の公共団体が使用するとき」は市が全額負担、「その他市長が特に減額や免除する必要があると認めるとき」は市が全額負担または2分の1負担とすること、その他使用料の全額を徴収する団体や対象ケースについて協議を行いました。

- 平成18年度公民館教室申込者数について

市内各公民館における講座の開設状況や定員に対する申し込み者数について報告を受けました。

- 「了てらこや小学校」について

藤樹先生のもとで勉学に励み、名医となった大野了佐先生の名

当該地域の魅力ある地域づくりを推進するため、委員会を設置し文化的景観の保存活用についての調査研究や保存活用計画を策定すること等を定める要綱を制定しました。

- 高島市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について

国の補助基準額の改正に伴い、市の本要綱を改正しました。

- 高島市立学校結核対策委員会設置要綱の一部改正について

今津保健所が高島保健所に改称されたことにより、本要綱の一部を改正しました。

- 高島市スポーツ振興関係補助金交付要綱の全部改正について

市内各種団体のスポーツ振興を図るため、市の体育施設の使用料および利用料を、団体に応じて10分の10以内または2分の1以内で補助することを定める全部改正をしました。

＜委員からの意見＞

補助対象科目の設定が必要である。また団体運営費の全額を補助することのないよう、団体の自主財源も考慮する必要がある。

精神に学び、「読み、書き、計算」という内容での体験学習。

- 期 間 7月25日(火)～8月30日(水)
- 場 所 近江聖人中江藤樹記念館
- ※現在実施中

- 青少年の非行問題に取り組む滋賀県強調月間について

※7月1日(土)から7月31日(月)に実施

- 「たかしまごどもまつり」の開催について

市内の青少年育成関係者や子どもたちの参画により、体験活動の活性化や大人との交流を深めることを目的にワークショップ形式の集いを開催。

- 期 日 7月16日(日)
- 場 所 藤樹の里文化芸術会館 安曇川図書館周辺
- 内 容 舞台発表・体験コーナー 模擬店・演劇

＜委員からの意見＞

実行委員会で実施されると思うが、真の実行委員会による運営となることが大切。行政は安全の確保等の基本的な支援を行うことが望ましい。また子どもの実行委員会の活動を活発にしてほしい。

- 今後の高島市における幼児教育のあり方について

【検討課題】

- ・認定こども園について
- ・幼稚園・保育園再編成について
- ・統一した保育・教育の内容について

統一した保育・教育の内容について

- ・保育園職員と幼稚園職員との合同研修について
- ・福祉部局との共同による協議機関の設置について

＜委員からの意見＞

保育園と幼稚園の保育・教育内容はほぼ同じであり、ただ遊ばせているのではなく、遊びを通して学ぶ教育的要素が織り込まれている。この幼児期は人や物や自然とのかわりの中でこそ成長する最も大切な時期である。また、親のニーズや子どものことを第一に考え協議を進めていく必要がある。

- 小中一貫教育について

小学校と中学校では、学習指導や生活指導においてそのつながりが必ずしも円滑に行われているとは言えず、中学校進学に際して、不安や戸惑いを感じている児童・生徒も少なくない。また、小学校で培われ育まれた個性や能力等

- 高島子ども藤樹会について

中江藤樹先生の教えや生き方の学習を通して、豊かな心やたくましい人間性を培う。また、藤樹先生ゆかりの地である愛媛県大洲市を訪問し大洲市児童との交流や史跡見学などを通して、地域の文化を学び互いを尊重する精神や友情を育むことを目的に実施。

- 期 間 6月～来年3月
- 場 所 藤樹記念館・藤樹書院 愛媛県大洲市他
- 対象者 市内小学校 4～6年生 30人

- 2006びわこトライアスロン&びわこチャレンジin高島の開催について

水泳、自転車、マラソンを連続して行うトライアスロン競技を通じて、高島の美しい自然とふれあいながら、参加者と地域との交流を深めます。

- 期 日 7月9日(日)
- 会 場 高島B&G海洋センターとその周辺

※9ページに関連記事

●教育委員会 Information

に対するご意見等は、高島市教育委員会事務局総務課(☎011-322まで)お気軽にお寄せください。